

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度 昭和17年～		根拠法令・例規等	
総合計画	大項目 基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問 担当課(室)	市民課
	中項目 基本施策	04	安全で安心に暮らせるまちづくり		
	小項目 施策	03	安全・安心な環境の高揚		
事務事業名		02	防犯施設整備事業	合 職・氏名	生活安全係長 新庄 敏彦
				先 電 話	0869-64-1876
				このシート作成に要した時間 3.0 時間	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	国道2号線及び250号線のスポンサー付の水銀灯及び日生地内の防犯灯	
目的 (何のために)	犯罪の発生を抑制するために設置した防犯灯などの維持管理をする。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	日生地内の防犯灯は、市と町内会の維持管理している防犯灯の位置を明確にし、今後の管理を検討する。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	防犯灯管理事業	昭和56年頃に設置した国道2号線のスポンサー付の水銀灯は、老朽しており国土交通省と協議し、順次撤去する。 国道250号のスポンサー付の水銀灯及び吉永地内の水銀灯の球切れ交換をする。 日生地内の防犯灯は、市と町内会が管理の防犯灯について、今後の管理を検討する。	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	事業費	直接事業費	千円	2,128	1,672	2,149
	必要人員	人員費	千円	0.15人	1,492	0.20人
	事業費	人員費	千円	3,620	3,700	4,043
	財源	国	支出金			
		受	益者負担			
		繰	入金			
	一般	市	債			
		源	その他( )			
	受	益者負担比率	%	3,620	3,700	4,043

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	電気料金支払灯数	灯	125	125	122
	対前年比	%	-	100.0%	97.6%
	活動コスト	円	2,611,657	2,266,740	2,833,338
	単位当たりコスト	円	20,893	18,134	23,224

事業の成果						
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
	目標値(A)	100	100	100	100	
	実績値(B)	125	122	120	到達目標値	
達成率(B/A)		125.00%	122.00%	120.00%	100	
成果指標設定の考え方・式や説明						
市が電気料金を支払っている防犯灯の数						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	市民ニーズ	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	効率性の評価	コスト	コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研習に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
有効性の評価	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	市民参画度	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	市管理の防犯灯の内、現地調査により管理不明な防犯灯を無くすよう、中国電力と協議する。						

総合評価		総合評価	
防犯施設の整備は、安全安心の観点から、犯罪発生を未然に防ぐために重要であるが、市と地域の役割分担を構築し、地域の自主管理の推進による効率化を図る必要がある。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	C

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	引き続き、市が管理している防犯灯数について、現地調査及び中国電力と協議して、管理灯数の削減に努める。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する

Action